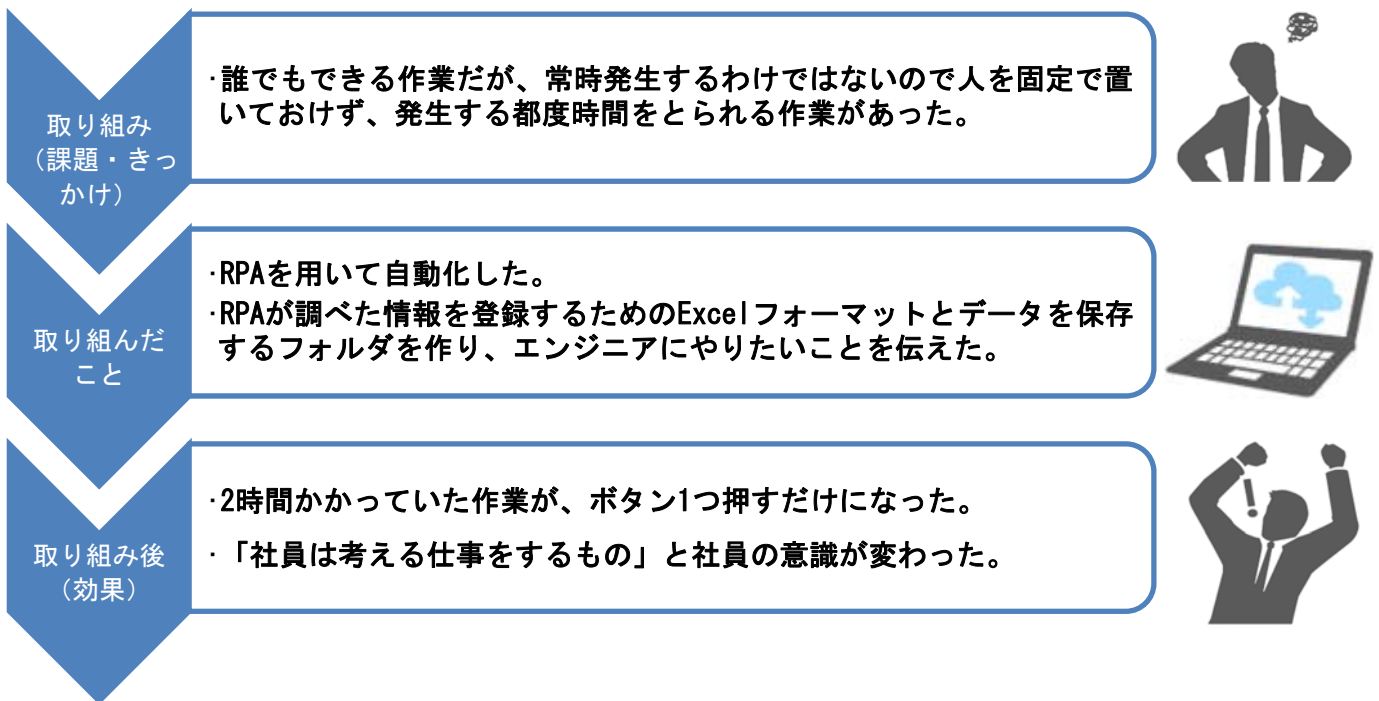




- ✓ RPA を求人サイトに掲載する情報の収集や派遣部門の応募者対応等で活用。
- ✓ 2時間かかっていた作業もボタン1つで瞬殺。大きな時短や残業削減効果をあげている。

導入した IT ツール

- RPA ツール（業務自動化ロボット）
（「WinActor（ウィンアクター）」 NTT データ株式会社）

導入のきっかけ・取り組み・効果



<p>コスト(費用)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス料：フル機能版 90万8,000円/年×2台 +実行用 24万8,000円/年×11台 ・導入にかかった人件費（求人サイトのコンテンツ作成業務の場合） <ul style="list-style-type: none"> ・導入部門の社員：資料作成 10分+エンジニアとの打合せ 1回 ・社内エンジニアの工数：1シナリオあたり 10~20時間×3,500円 <small>※賃率は社外向け工賃を記載</small>
<p>メリット(効果)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人サイトのコンテンツ制作で稼働している RPA では、2時間かかっていた作業がボタン1つで瞬時に終了するようになった。 ・派遣先企業、派遣スタッフの契約書発行業務では、1日 30分×4人の残業削減。 ・社内では上記を含め 14個の RPA が稼働（2019年8月時点）。時短分だけで十分元が取れている。

活用の状況（どんなことができているか）

○ 2時間かかっていた作業が、ボタン1つで瞬時に終わっています。

- 当社の求人サイト「しゅふJOBパート」のコンテンツ制作において、求人情報に記載する勤務地をネットで検索し、最寄り駅や駅からの所要時間といったデータを所定の Excel のフォーマットに登録する作業を RPA で行っています。
- 作業自体は、1件30秒もあれば終わる簡単なものですが、突発的に100件単位で求人を頂いたときなどは、結構な作業量になります。ただし、常時発生する作業ではないので、固定的に人を置くわけにはいかず、業務が発生する都度、対応できる人を探して依頼しなくてはなりません。頼める人がいないと、社員が自分自身でひたすら単純作業に従事することになります。
- 200件くらいの求人を処理するのに、2時間くらいかかっていた。それが RPA で自動化したことで、ボタン1つ押すだけで作業が一瞬で終わるようになりました。

○ RPA の導入に専門知識はいりません。

- 専門的なスキルや知識はなくても、RPA は利用できます。RPA のシナリオ（プログラム）は、社員が自分で作るのではなく、RPA のエンジニアに書いてもらいました。当社は事業として RPA の導入支援サービスもしているため社内に RPA のエンジニアがいますが、いない場合も外部のサービスを利用すれば同様かと思えます。
- 求人サイトの社員が自分でした作業は、RPA に調べさせた情報（最寄り駅や駅からの所要時間）を登録するためのフォーマットを Excel で作り、データを保存するためのフォルダを作ったことくらいで、あとは、どのようなことをやりたいかをエンジニアに口頭で説明し、シナリオを作ってもらいました。
- RPA 化にあたって必要な情報は、エンジニアが丁寧にヒアリングをして拾い上げてくれます。求人をいただいてから掲載するまでのスケジュールや、その中で RPA を動かすタイミングを説明したほか、「しゅふJOBパート」のシステムに入っている駅名マスターと RPA が拾ってくる駅名が完全一致しないとエラーになるといったシステムの癖などをヒアリングの際に伝えました。

○ 求人への応募者対応や、契約書発行業務などでも RPA が稼働中。

- 当社では、このほかにも、スタッフィング事業部での求人への応募者対応、間接部門での契約書発行業務など、社内のさまざまな部門・業務で RPA が稼働しています。
- スタッフィング事業部では、求人媒体に掲載した求人への応募に対し、応募者が当社登録者か

未登録者かを調べ、未登録者であれば当社登録案内のメールを自動で送信し、登録者であればどの求人媒体から応募があったかを基幹システムに登録する作業を RPA で自動化しています。

- 事業サポート部門では、2 チーム 4 名で対応していた派遣先企業、派遣スタッフの契約書発行業務に RPA を導入することで、1 人あたり 1 日 30 分の残業削減に成功しました。ヒューマンエラーもゼロになり、以前は行っていた確認作業も不要になっています。

○生産性向上の効果は抜群です。

- 求人サイト「しゅふJOBパート」では、コンテンツ制作のため、200 件を処理するのに 2 時間くらいかかっていた作業が、ボタンを押すだけで済むようになりました。発生の都度、作業してくれる人を探したり、人を探せずに社員が自分で単調な作業に従事していたような効率の悪い状況を解消できました。空いた時間は、営業活動など別の業務に割り当てられています。
- スタッフィング事業部では、RPA 導入で、事業部全体で 1 日 8 時間くらいの工数を削減できました。また、オペレーション作業のためのスケジューリングの手間もなくなりました。
- 事業サポート部門では、RPA を導入した作業について、1 日あたり計 2 時間（一人あたり 30 分×2 チーム 4 名）の残業削減ができています。

○社員の意識も変わりました。

- RPA を導入し、効果を実感することを通じて、「誰にでもできる仕事、ルーティン作業はやらない」という意識が社員に生まれています。「データ集計のようなオペレーションの仕事は社員がやらなくてもよいもので、そこに時間をかけるのは会社のためにならない」と思うようになったという社員もいます。
- 単純なオペレーション業務を自動化することで、「人がパワーを割くべきこと」に社員が集中できるようになりました。また、ある社員は、RPA を導入することで「“考える仕事”だけが残っていくんだな」と実感したといえます。社員がそうした意識を持ちながら仕事をしていくことで、生産性が向上し、付加価値の高いサービスが生み出せると感じています。

コストと効果について

○導入・運用費用

- 「WinActor」のライセンス料は RPA の開発もできる「フル機能版」が PC1 台あたり年間 90 万 8,000 円、RPA を動かすのみの「実行版」が PC1 台あたり年間 24 万 8,000 円です。初年度はフル機能版を 2 台、実行版を 11 台導入し、450 万円強かかりました。実行版のライセンスを入れた PC を各部署に配置し、初年度は 27 個のシナリオを稼働させました。PC1 台で稼働させられるシナリオは同時には 1 つですが、時間をずらせば複数走らせることができます。

- 導入準備のための工数は、例に挙げた求人サイトのコンテンツ制作業務の場合、打ち合わせ 1 回と、10 分くらいで資料を 1 つ作っただけと聞きます。ただし、シナリオの難易度や RPA 化する業務の理解度によって、かかる時間、工数には変動があります。例えば、洗い出したはずの業務フローに抜け漏れがあればエラーの原因になりますし、その他にも稼働前のテスト、調整や、稼働し始めた後の業務フロー変更への対応が発生することがあります。
- 27 個作られたシナリオの内、稼働しているものは一部です。例えば 2019 年 8 月時点では 14 個のシナリオが稼働しており、月間 52 人日以上 of 工数が削減できています。1 人日 = 1 万円のコストと仮定しても、月間 50 万円以上、年間で 600 万円以上の効果が得られる計算です。

○効果

- 求人サイトのコンテンツ制作では、以前は 2 時間かかっていた作業でもボタン 1 つで終わるようになりました。この作業だけで年間計 150 時間程度の時間節約となっています。
- 派遣先企業、派遣スタッフの契約書発行業務では、4 人合わせて 1 日あたり計 2 時間の残業削減です。
- これらを含め社内では 14 個の RPA が稼働しています。時間節約の効果だけでも十分に元が取れていると思います。

Q&A

—社内に専門家がいなくても、RPA の導入はできるでしょうか？

- 当社の場合、社内の RPA エンジニアがシナリオを作成していることもあり、利用する社員には RPA の知識も不要です。少し馴れは必要ですが、エンジニアでなくとも自分でシナリオは作れます。RPA のシナリオを作るための無料研修やサポートサービスもあります。
- ただし、処理が複雑なものやセキュリティに関する特別な対応が必要なものは、専門的な知識が加わってくるので、RPA の専門家がいたほうがスムーズに導入できると思います。

—RPA 導入時に注意することはありますか？

- RPA は「言われたこと」しかできません。「ルール化できていると思っていたけれど、実は暗黙のルールとして何となくやっていた」ことがあると上手く動きません。導入にあたっては業務フローを整理し、必要な作業を網羅的に RPA に登録できるようにすることが肝要です。

株式会社ビースタイル

<https://www.bstylegroup.co.jp>

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-3-17 FORECAST 新宿 SOUTH 5F・7F

主な事業：人材派遣業、有料職業紹介業、業務分析事業、業務請負事業、人材採用支援事業

設立：2002 年 7 月

資本金：8,640 万 5,000 円

従業員数：358 名（パート含め 556 名）（2020 年 1 月 1 日時点）